

人文社会科学部後援会  
保護者の皆様

人文社会科学部長・大学院研究科長  
後援会副会長  
内田聰

学部後援会の運営につきまして日頃より大変お世話になりお礼を申し上げます。  
ご連絡が遅くなりましたが総会での議題了承の件、および、その後のコロナウイルス  
感染の状況変化に伴う対応をご連絡いたします。

今年度の後援会の事業・予算については、やむなく対面での総会は中止し HP 上に掲  
載してご意見を募りましたが、期日までにご意見等はなく了承されましたので、ここに  
お伝えいたします。ご協力に改めて感謝を申し上げます。

しかしながら、総会後も感染拡大は収まらず合宿などの事業を行うことが難しくなつ  
てまいりました。これに関連して以下の対応を行いたいと考えております。

4年生は、昨年度から 2年間同じ状況におかれ卒業することになるかもしれません。  
そこで、合宿などが行えない場合は、卒論の資料（図書など）の購入を、今回は4年生  
全員を対象に認めたいと考えております（ただし、合宿等の事業を申請し実施する場合  
は重複するため対象になりません）。

予算的には、年末の残高には余裕があり、また多くは申請した事業の代替として行  
われますので問題はございません。

この扱いは「事業・予算における方針」を超えるものですが、コロナ禍における今年  
度限りの特例として対応を順次進めてさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願  
いいたします。なお、この件については先に役員の方々にご説明申し上げています。

このことに限らず、ご意見・ご提案などがございましたら、いつでもご連絡を頂戴で  
きればと存じます。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

時節柄ご自愛ください。